



白水小だより

萩市立白水小学校 学校だより 令和4年(2022年)6月号



体育参観日



5月29日(日)に青空の下、体育参観日を行いました。子どもたちは今年のスローガン「それいけ白水っ子 コロナに負けるな 絆パワー100倍」のとおり、元気に力を合わせて競技に臨んでいました。低学年はかわいらしく、高学年はたくましく成長に沿った姿を見せていました。今年は6年生の親子競技が復活し、和やかな雰囲気親子でのデットヒートが繰り広げられ小学校生活での思い出の1つになったと思います。また、よさこいソーランでは、練習の成果を発揮し全員で一体感のある舞を披露しました。

今年度の優勝は赤組でしたが、どちらの組も6年生がリードしみんなでチャレンジする姿が見られるなど頼もしさを感じました。来年度こそは制限なしで、多くの保護者や地域の方に子どもたちの頑張る姿をご覧いただければと願うばかりです。



1年生を迎える会



5月20日(金)に延期していた1年生を迎える会を行いました。この日のために準備してきた計画委員会の児童が進行役を務め、きらきらグループ(異年齢集団)ごとにゲームをしたり、グループ対抗のクイズをしたりして楽しい時間を過ごしなが、交流を深めました。最後には、上級生からのメッセージを貼り付けた鯉のぼりをプレゼントされ、1年生はとても嬉しそうにしていました。人数が少なくなってしまった白水小学校ですが、このように上級生と下級生が一緒になって活動できることは、リーダー性や思いやりを学ぶ絶好の機会だと思います。これからも全校児童と一緒に活動する機会を作りたいと思います。



田植え



5月23日(月)に4・5年生が田植えを行いました。今回が初めての体験となる4年生は、最初田んぼの泥の感触にびっくりしていました。2回目となる5年生は、昨年経験を生かし、慣れた手つきで等間隔に苗を植えていました。1時間ほどで、



泥だらけになりながら、割り当てていただいた部分の田植えを終えることができました。今回は、日頃子どもたちを見守ってくださる山田駐在所の兼俊所長が飛び入りで参加され、一緒に汗を流しました。田植えの後は、隣の田んぼで機械での田植えを見学し、機械化された農業を学ぶことができました。この取組を通じて、食や命について考えるとともに、農業に関わる方々への感謝の気持ちを抱いてほしいと思います。

ホタル捕り

6月3日(金)に白水小学校の伝統となっているホタル捕りを行いました。集まった5・6年生は、虫取り網と虫カゴを手に白水川の川辺に下り、柔らかな光を放ちながら飛ぶホタルをそれぞれ捕まえていました。捕まえたホタルは、オスとメスを見分け数を数えながらケージに入れました。この時すごいのが、子どもたちと共に保護者の方もオスメスの見分けができるということです。長年ホタルに関わる白水小学校ならではの光景だと感じました。今年はホタルの数も多く、オスメス共に目標を大きく上回る数をつかまえることができました。これから、産卵後孵化した幼虫を6年生が育てていくことになります。

来年度は、全校児童がホタル捕りに参加できるといいなあと思っています。



自転車教室

6月7日(火)に山田駐在所の兼俊所長を指導者として招き、3年生が自転車教室を行いました。兼俊所長からは、自転車は車の仲間で、交通ルールを守る必要があることや自分の身を守るために気をつけなくてはいけないことを教わりました。また、「ぶたはしゃべる」の語呂合わせを使って自分の自転車を点検しました。その後、体育館の中に作られたコースを使って練習をしました。萩市内の小学生は、自転車に乗るときにはヘルメットをかぶり、横断歩道や踏切では押して渡るということになっています。この自転車教室で学んだ事を思い出して、安全に自転車に乗ってほしいと思います。



和船競漕・おしくらごう

6月5日(日)、玉江浦河川敷で和船競漕とおしくらごうが行われました。和船競漕では、白水小学校の保護者も出場され、見事な櫂さばきを見せておられました。その後江戸時代から玉江浦、倉江地区で引き継がれてきたおしくらごうが行われました。地区ごとに飾られた和船の上で禪姿の若者がたくましく颯爽と漕ぐ姿は、海の男たちの誇りを感じさせるものでした。このような行事が白水小学校の校区で続いていることを誇りに思い、将来漕ぎ手としてこの行事に関わる子どもたちに育ててほしいと思います。



7月の行事

- 4(月)クラブ活動
- 7(木)読み聞かせ
- 13(水)口座振替・地区児童会
集団下校
- 14(木)6年租税教室
学校保健安全委員会
- 15(金)給食終了
- 18(月)海の日
- 19(火)期末懇談会
- 20(水)1学期終業式
- 21(木)夏季休業(～8月31日)
- 29(金)学校運営協議会